



「がん情報プラザ～ゆうあい～」
1階の初診受付の隣に設置しました。



当センターに寄せられたご相談のなかから

Q 言いたいことをうまく伝えられません

「担当の先生に、痛みや身体の具合をうまく説明できません。また、聞きたいことがあっても、こんなことを聞いてよいのかどうか？先生も看護師さんも、いつも忙しそうなので、申し訳なくて」

A 担当医師や看護師とうまく話ができないという方は、少なくありません。診察室では緊張してしまっ、何を話すつもりだったのか分からなくなったり、スタッフの忙しそうなので遠慮してしまい、質問のタイミングをみつけれないというケースもあります。しかし、分からないことをそのままにしておくことは、よいことではありません。そういうときは、あらかじめ聞きたいことをメモしておくことをおすすめします。

メモの例

《聞きたいこと》

・今の病状は？

・気をつけることは？

《伝えること》

・数日前から痛みが強くなっている

《確認すること》

・前回のCT結果
・本日の採血結果



Q がんに関する情報が欲しい

「がんに関する情報を知りたいのですが、どこに行けばいいですか？」

A 当院1階の初診受付の隣、「がん相談支援センター」の入り口に「がん情報プラザ～ゆうあい～」のブースを設け、各医療機関が発行しているいろいろな冊子を置いています。国立がんセンターがん対策情報センターより発行されている冊子には、各種がんの受診から診断、治療、経過観察への流れが解説されています。また、静岡県立がんセンター「がんの社会学」に関する研究班より発行されている冊子には、「患者・家族のコミュニケーション」「医療情報をもっと知りたいとき」「緩和ケアについて」「自宅で受けられる医療・生活支援サービス」などの手引書などがあります。